

# 大阪市における 治水・浸水対策の取り組み

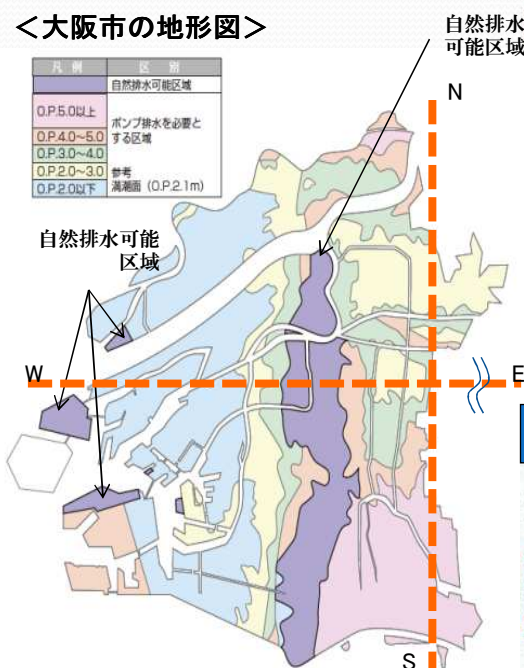
## 1. 大阪市の概要

大阪市

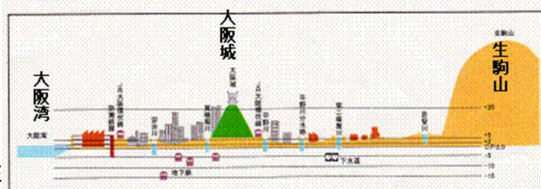
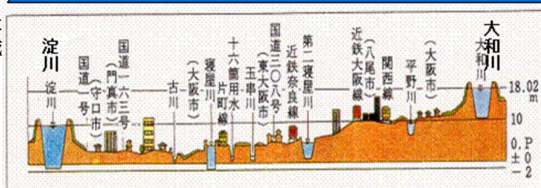
### 大阪市の地形と都市化の進展

大阪市は、上町台地などの一部を除いて市域の約90%がポンプ排水に頼らなければならない雨に弱い地形であることに加えて、都市化の進展で内水を排除する能力に不足が生じた。

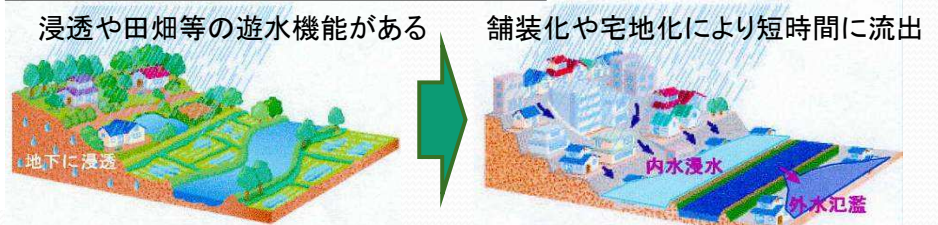
#### <大阪市の地形図>



#### 地盤が低く雨に弱い地形



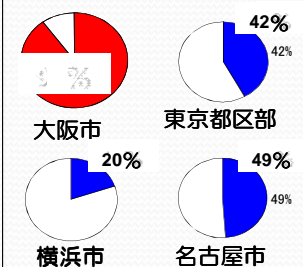
#### 地盤が低く雨に弱い地形



下水への流入量が増大し、内水を排除する能力に不足が生じている。

#### ポンプ排水に頼る面積の割合が大

ポンプ排水に頼る面積割合





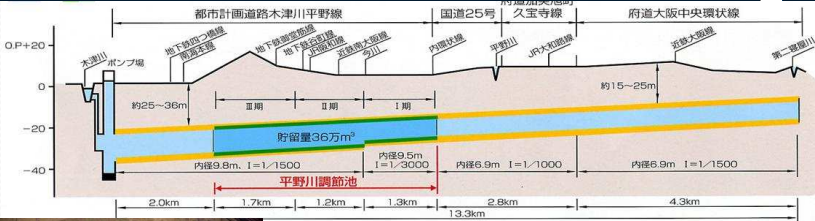
① 抜本的な治水・浸水対策

大阪市での治水対策

本市東部地域を含まれる寝屋川流域での総合治水対策として、地下河川(一部区間のみ、調節池として暫定利用)、放水路、流域対策を実施すると共に、都市排水のルートともなるその他小河川の改修を実施している。

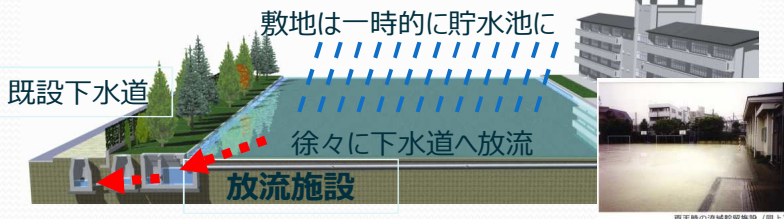
平野川調節池(寝屋川南部地下河川の一部)

城北川改修事業(寝屋川からの放水路)



流域貯留浸透事業

その他河川改修

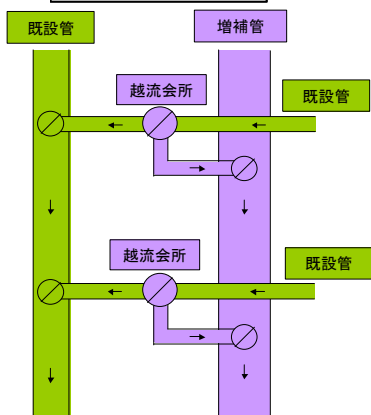


① 抜本的な治水・浸水対策

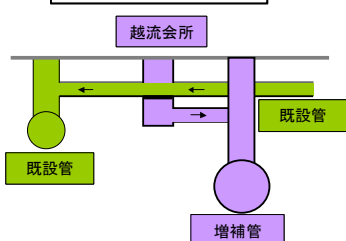
抜本的な浸水対策(下水道対策)

既存の施設を活用し、不足する能力を補う施設(下水道幹線やポンプ場)を整備する『抜本的な浸水対策』を推進している。

平面イメージ



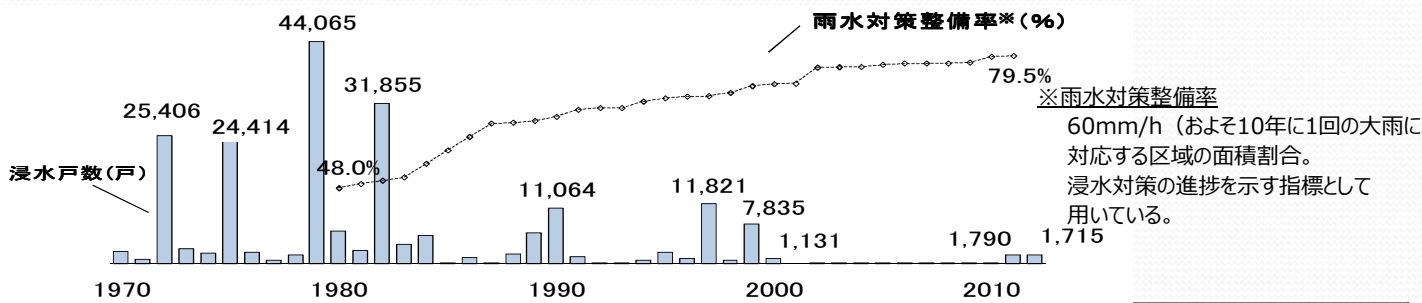
横断イメージ





# 近年の浸水被害

総合治水等の治水対策や抜本的な浸水対策の進捗に伴い、浸水被害は減少傾向にあるが、近年、局地的な集中豪雨（いわゆる“ゲリラ豪雨”）による浸水が多発している。



	H23.8.27	H24.8.13~14	H24.8.18	H25.8.25
浸水戸数(床上)	1,788 (96)	815 (87)	789 (22)	1,320 (41)
雨量	1時間強度	77.5mm	83mm	94mm
	10分間強度	26.3mm	21.5mm	32mm



平成23年8月27日の浸水状況  
(大阪市中心部)



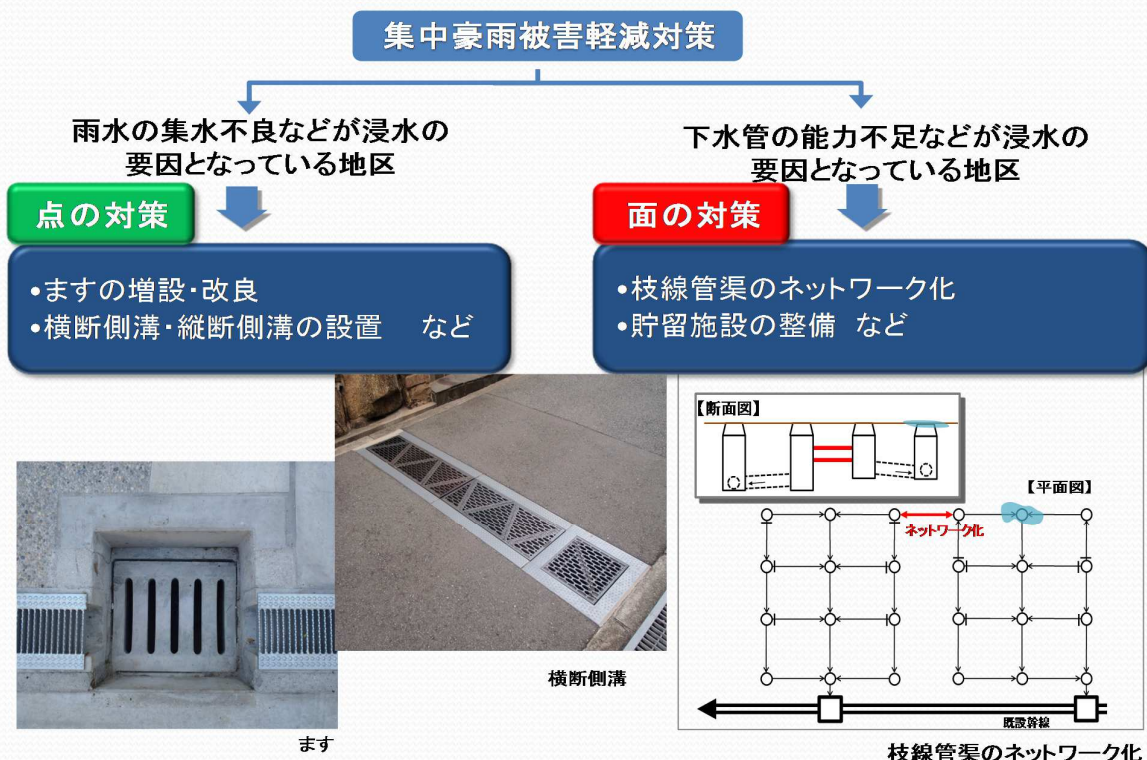
平成24年8月14日の浸水状況  
(大阪市中心部)



平成25年8月25日の浸水状況  
(大阪市中心部)

# 集中豪雨被害軽減対策

近年の記録的な集中豪雨により顕在化した、地形等の地域特性による浸水被害や道路冠水に対して、下水道事業と道路事業を併せた『集中豪雨被害軽減対策』を実施。





# 市民への啓発等

浸水被害の防止・抑制には、ハード（河川・下水道等の整備）だけでは限界があることから、ソフト（自助・共助の取り組み）の取り組みの積極的な支援に努めている。

## 身の回りでできること

- 雨水の下水道への入り口である“ます”を植木鉢などでふさいだり、ごみや砂を掃きこんだりしない。
- 大雨の時には、「洗濯をしない」・「お風呂の水を流さない」等、多くの水が下水道へ流れ込まないように努める。
- 気象情報には十分注意する。
- 防災マップにより大雨が降った場合の浸水の予想や避難情報を事前に確認しておく。
- 下水道にたくさんの水が一度に流れ込むため、雨水をタンクで貯める助成制度を活用してみませんか。

一定規模以上の開発行為等に対して、公共下水道への接続協議に際し、雨水が短時間に下水道へ流入することを抑制するための施設の整備を指導（表面貯留・貯留槽・地下浸透等）

これまでに、市内で約50万m<sup>3</sup>の貯留施設が設置されている

### 流出抑制の指導



降雨情報の提供



防災マップの公表



雨水貯留タンクの助成



土のうの貸し出し

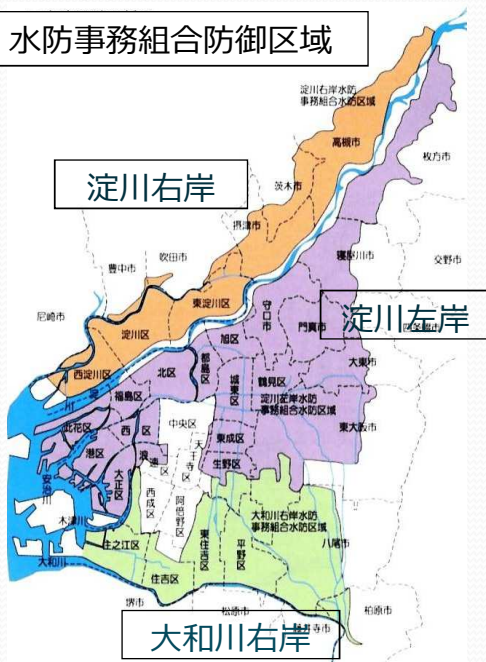
# 水防に関する取り組み

淀川・大和川に対しては水防事務組合を組織して水防対応を図ると共に、水防工法や情報伝達のための訓練などを通して、水防活動に万全を期すこととしている

## 水防事務組合

淀川・大和川の流域の市町と共同して、淀川左岸・淀川右岸・大和川右岸の3水防事務組合を設置

### 水防事務組合防御区域



## 各種 水防訓練等の実施

水防工法や情報伝達のための各種訓練や水門施設の遠隔監視・操作により、的確で迅速な対応を図る





# 大阪市の降雨レーダー

雨水ポンプの的確な運転操作や、大雨に備えた動員体制の構築などに活用するため、大阪市独自の降雨レーダーを設置。⇒ 情報を市民にも提供

- 平成5年4月より、Xバンドレーダの運用を開始
- 平成22～23年度に、XバンドMPLレーダに更新

## 市民への情報提供画面（近畿域）

### 【降雨レーダー】

- ・ 観測範囲：半径80km
- ・ 更新間隔：1分
- ・ 観測面積：250m×250m
- ・ 国土交通省XバンドMPLレーダとの合成

### 【降雨情報の配信】

- ・ 提供方法：インターネット 携帯電話
- ・ 更新間隔：1分（携帯電話は5分）
- ・ 降雨凡例：8階調
- ・ 表示範囲：  
近畿域・大阪府域・大阪市域・行政区域
- ・ 履歴再生：120分（携帯電話はなし）

